



作者：工藤和久さん（青森県弘前市）

村内五つの小学校統合に伴い、平成二十二年四月に開校する関川小学校の校歌ができあがりました。校歌の歌詞には、県内外から十八作品が寄せられ、学校創立委員会（高橋一裕委員長）で一次選考を行い四つの作品を選定。最終的には、平田美佳さん（小見）の作品に平田大六村長が決定しました。

また作曲は、鮎谷集落出身で音楽に造詣が深く、元関小学校校長を務めた、前田彪さん（現・村上市荒川地区公民館長）に依頼しました。新しい関川小学校の校歌は、閉校する五つの小学校の在校生が練習を行い、四月五日の開校式でその歌声によって披露される予定です。

# 平成22年4月開校 関川小学校

## 新たな伝統へ 校歌が完成



## 関川小学校の 新校舎が完成

12月6日に竣工式

12月13日(日)に一般公開  
9:30~15:00



各教室や廊下の腰板・柱などに、村有林のヒノキ材がふんだんに使用されていて、木のぬくもりが感じられます。また、廊下が広く、教室との仕切り壁を自由に可動できる仕組みになっているため、明るく開放的な空間となっています。

なお、詳しい施設概要は次号の広報せきかわで紹介します。

平成二十二年四月開校に向けて工事が進められてきた、関川小学校の新校舎がこのほど完成しました。新校舎は鉄筋コンクリート造三階建て、体育館が鉄筋コンクリート造平屋建てで、屋根は瓦葺きとなっています。村では、十二月六日に竣工式を行い、十三日に一般公開を予定しています。また、十六日に村内小学校児童の見学会を行い、備品を配置。その後、関小学校児童の引っ越しを行つて四月の開校に備えています。

## 関川小学校 校歌

作詞 平田 美佳  
作曲 前田 肇

*J = 104 ~ 112*

はづんで はいみ かいど あり ゆのひ おやろ よまが ぐにる あはふ あらげる かまさ わさと のれで  
 カゆき わたよ らくわ らくわ ぬなあ なこか がこる れるく うわす けきこ いがか つあや でりに とおひ  
 もある にきい まなつ まなば ぼぼさ(x) ううに x x  
 てむゆ をねめ くにの んだせ( v ) できて ー  
 えみあ がんす おなへ かのは がゆば やうた ききく あひこ すかと さとた くきち ー  
 カづよく ー  
 せせせ ききき かかか ー  
 空き缶千八百七十五本を使つた壁画は、縦四メートル、横五メートルと巨大なもので、デザインしたのは五・六年生の児童。木々やヒヨウタン池など庭園グラウンドが描かれたほか、学び舎への感謝の思いを含めた「アリガトウ土沢小」の文字が大

土沢小学校の全校児童四十二人が、来年三月に閉校となる学び舎への思いを込めて、空き缶を使って壁画アートを作りました。

空き缶千八百七十五本を使つた壁画は、縦四メートル、横五メートルと巨大なもので、デザインしたのは五・六年生の児童。木々やヒヨウタン池など庭園グラウンドが描かれたほか、学び舎への感謝の思いを含めた「アリガトウ土沢小」の文字が大

きく入れられました。

長野涼夏さん（6年・上土沢）は「針金に缶を通すとき、順序を間違うと取り外されなければならないので大変でした。苦労しただけに、完成がとても嬉しいです」と、出来栄えに満足していました。

空き缶アートは、十一月八日に開催された、土沢小学校最後の文化祭「きりでまつり」で、保護者や地域の皆さんに披露されました。

一 若あゆ泳ぐ 荒川の  
かわらぬ流れ うけついで  
ともに学ぼう 手をくんで  
笑顔ががやき 明日に咲く

関川小学校

二 飯豊の山にはげまれ  
ゆたかな心 わきあがり  
大きな希望 胸にだき  
みんなの勇気 ひかるとき

関川小学校

三 緑ひろがる ふるさとで  
清く明るくすこやかに  
ひろいつばさに 夢のせて  
明日へばばたく ことりたち

関川小学校

## 「アリガトウ土沢小」 閉校の思いをアートに込めて

